

<

県内の3つのフードバンク団体を通じて新型コロナウイルス禍における生活困窮者を支援 計150kgのたまねぎをフードバンクに寄付

コープみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：新井 ちとせ、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）は、新型コロナウイルス禍で生活が困窮されている方を支援するため、5月14日（木）と15日（金）、千葉県内の3つのフードバンク団体（「フードバンクちば」「フードバンクふなばし」「とうかつ草の根フードバンク」）へ、白子町の特産であるたまねぎを計150kg 寄付いたしました。

コープみらいでは、農事組合法人長生産直（本部：千葉県長生郡白子町）にて、組合員の親子がたまねぎの定植、たまねぎの収穫を体験できる産地交流企画「白子町のたまねぎを育てて食べよう！」を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令を受けて、5月17日に開催を予定していたたまねぎの収穫体験を中止しました。

参加予定だった16組の組合員には定植後に成長したたまねぎをお送りし、組合員送付分以外のたまねぎを、長生産直のご協力により寄付いただき、フードバンク団体を通じて生活困窮者、児童養護施設、子ども食堂などへお届けします。

●寄付の概要について

寄 付 先：5月14日（木）「フードバンクちば」（本部：千葉県千葉市）
5月15日（金）「フードバンクふなばし」（本部：千葉県船橋市）、
「とうかつ草の根フードバンク」（本部：千葉県流山市）
寄 付 数 量：たまねぎ 計150kg

長生産直 代表理事 大多和 重則様のコメント

「生活にお困りの家庭や子ども食堂に届けていただき、大いに活用していただきたいです」

フードバンクちば 高橋 晶子様コメント

「大切に使用させていただきます。コロナ禍の状況でも支援をいただけることに感謝いたします」



フードバンクを代表して、フードバンクちばの高橋 晶子さん(左)にお渡ししました



コープみらいは、2015年に国連で採択された17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」の実現に、事業と活動を通して貢献します。

《生活協同組合コープみらい 概要》

【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸1-5-5	【総事業高】3,909億円（2018年度）
【理事長】新井 ちとせ（あらい ちとせ）	【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都
【組合員数】357万人（2020年4月20日現在）	【ホームページ】 https://mirai.coopnet.or.jp/